

9400

第一機動艦隊機密第一〇四号

昭和十九年九月五日

あ號作戦戦闘詳報

自昭和十九年六月十二日
至同 六月二十日
ツバメ島西方海面露ル戦闘

第一機動艦隊司令部

第二復員省

目次

- 一 形勢
- 二 計畫
- 三 経過
- 四 令達報告等
- 五 戦果及被害
- 六 參考
- （イ）戦訓
- （ロ）天気圖

（目次終）

あ号作戦戦闘詳報

自昭和十九年六月十三日
至同六月二十二日
サハシ島西方海面に於ける戦闘

第一機動艦隊司令部

一、形勢

(1) 発動前に於ける敵兵力配備、行動、及企圖、六月十五日夕刻に於ける情況判断
 (2) 敵兵力及配備

1. マリアナ列島線方面

敵ハ概ネ五群ヨリ成ル正空母七隻、巡洋空母八隻計十五隻ヲ基幹トシ、殆ド米國機動
 兵力ノ大部ヲ擧ゲテ襲セルモノト認め

列島線東方四〇〇哩附近ニ補給部隊ヲ列島線附近ニ送り、一部揚陸開始ヲ認め、ミ
 ナルモ早晚大規模ニ攻略船團ヲ来攻ハ免レザルベシ

特空母乃至護衛空母ハ列島線東方ニ一部認めタルノミナルモ決戦前後ハ相当多数
 列島線附近ニ進出ス算大ナリ

② アドミラルチー諸島方面

戦闘機、偵察ミレーを令信賴ヲ置キ難キモ空母ハ復内外戦艦以下ノ艦艇輸送船ヲ救待機シマリ

(二) 敵戦略企圖

敵戦略目的ハ左ノ如キナルカ又ハ同時ニ以テ達成セントスルモノナルベシ

1. 「マリヤナ」列島線に要基地の攻略

2. 前項作戦上併行シテ西部「ニューギニー」進攻作戦、強化スルカ「カリン」要地、攻畧

3. 我機動兵力ヲ誘出決戦

(三) 機動部隊決戦前後ニ於ケル「マリヤナ」列島線方面敵兵力配備ノ予察

1. 敵ハ我機動部隊ノ企圖ヲ察知シテ算大ナリ

2. 敵ハ列島線ニ機動兵力ノ大部ヲ配スルモ一部ヲ常ニ後方ニ補給スル備兵力トシテ控置シマリ又列島要地攻畧戦ハ支援ヲ續行スルヲ要スルヲ敵ハ認メテ如キナルベシ

(四) 列島線附近

最々兵力ヲ多ク配スル場合空母より即チ約十隻ヲ基幹トシ兵力ヲ配備スベシ

(1) 但レ攻略戦ノ状況ヨリ見テ其西進スル距離ハ大ナラザルベク三〇〇哩以内ナルベシ

(2) 列島線西方ニシテ至ルノ兵力ヲ配備シ殘余ハ陸戦協力及後方ニ予備兵力トシテ配置スルコトアルベシ

トアルベシ

(3) 全兵力ヲ攻略戦ヨリ撤シ時列島線東方ニ配スルハ現戦狀ニ鑑ミ其算小ナルベシ

(4) 一部機動兵力ヲ遠ク西方ニ先遣シ以テ我機動部隊ノ公撃ニ對シ横懸リ又ハ奇襲攻撃ヲ企圖スルコトハ我基地航空兵力啗取圈ニ入ルトナリ以テ其算小ナルベシ

(5) 我航空基地ハ南西方ニ興行アリ北方薄キヲ以テ敵南方諸島ヲ攻撃シ飛行機等ハ補給線ノ遮断ニ努ムト共ニ北寄リニ一部西進機動を算スルベシ

(6) 列島線附近ニ敵特空母相当數ヲ配シ陸戦ヲ支援ス算相当ナリ

四発動前奏正隊軍ノ兵力配備及行動

機動部隊ハあき作戦開始ノ令ニ基キ五月二十日以来「タタタ」ニ警泊待機シテリガ訓練ハ必要

上キマラスニ進出スルコトニ決定セリ

他面「ビアク」方面戦況上、關聯部隊、戦部隊ニ編入セラル、一戦隊（長門）五戦隊、二水戦（熊島、沖波）十駆、四駆（満潮）ハ十二日午前「バチヤン」泊地ニ集結シ、又「24」ハ六日、三日敵軍「アドミラル」出撃ニ關聯丁、其進出ヲ令シタル、其後情況依リ「ギマラス」ニ復帰ヲ令シ、及扶桑ハ「バオ」ニ待機シ、

六月十日及十二日ニ互ル敵機動部隊「サイパン」未襲ハ「サパン」攻略作戦、前徴「スズヤ」トノ見解アリシモ、飛行機隊ハ決戦前短期間ノ飛行訓練、自差修正、要切トモアリ、又當時「バオ」迄空輸シ、リシ補充機收容、要モアリ、且敵「マナ」作戦、今後攻略作戦ニ進展スル場合ニ於テモ「ギマラス」進出ハ戦機即應上、寧ロ有利ナリト理由、其機動部隊ハ予定ノ如ク十三日〇九〇〇「タウイ」名ニ飛「ギマラス」ニ向ヒタリ

十三日「サイパン」方面戦況、敵上陸、氣配濃厚ト認メ、一二四五補給部隊ニ三〇分間待機ヲ下令シ、又扶桑ニ対テ手持燃料ヲ「14」ニ移載、命ジリ
一三、日、七、ニ、セ、あ、号、作、戦、決、戦、用、意、下、令、セ、ラ、ル

二、計画

(1) 任務企圖

(1) GF 作戦命令

機密聯合艦隊命令作第七六号ノ通

(2) KRB 作戦計画

機密聯合艦隊命令作第六号ノ通

別紙(略)

(4) 作戦準備

(1) 情報蒐集

GF 通信配簡ニ依リ、各部隊ト通信連絡ニ密ニスル外 KRB 外信班ヲ強化積極的

ニテ活用シ情報蒐集ニ努ム

(2) 作戦兵力移動集中

KRB (2 部) 6 月 1 日ガ方面ニテ専ラ訓練ニ従事シテ、5 月 15 日、タウイタウイニ

進出セリ

284 武蔵及駿遠艦七隻ハ284司令官是ヲ率テ五月十一日内海西部出撃
 同日
 十六日「多々」著 KLB 合同セリ
 (三) 特ニ準備セル兵力兵器作戦資材施設訓練等ナシ

三 経過

(1) 機動部隊指揮官ノ作戰指導

天日	候日	情 況 判 断 處 置 発 受 セ ル 主 要 命 令 報 告 通 報 等
五月二二日 曇後晴		機動部隊、聯合艦隊「あ」号作戦要領ニ基キ、五月十六日、菲島南部「タラカ」に集結ス。
五月二四日 晴		第一補給部隊「タバオ」ニ進出セシム。
五月二六日 晴		第三補給部隊「バオ」ニ進出セシム。以上ヲ以テ予期ノ出撃前ニ至ル兵力展開ヲ完了ス。
五月二七 晴		「あ」号作戦開始ヲ発令セシム（GF電令作第九二号）。
五月二九 曇		西部「エギニア」方面「ビアク」攻防戦開始ス。
五月二九 曇		令ニ依リ58扶桑及2nd 10dgヲ渾作戦ニ参加セシム。
六月八 晴		渾作戦中「エギニア」58以下ヲ爾後「タバオ」ニ待機セシム。
		本作戦中、六月二日渾部隊出撃ト相関聯「ホーランドヤ」北方ノ敵母艦部隊誘出。
		捕捉機アリト認めラレタリテ第二補給部隊ヲ三日、菲島東方ニ進出セシメタルヲ爾後、
		後ノ形勢ニ依リ「ギマラス」ニ回航待機セシメタリ。
		右間西部「エギニア」方面形勢逼迫裡、五月三十日未二次ニ互リ58Bニ依リ予
		定、挺身偵察ヲ実施セラレタルカ哨戒索敵通信謀報上ニ相俟ツテ敵機動

兵カノ芳概不マシヤルヲ基地トシテ時ニ動靜アリ、或ハ予期決戦海面ニ未攻ノ
 氣配ヲ感シクルフト無キ非レモ一般ニ其真意ヲ捕捉シ難ク敵ノ主攻略指向莫ハ俄
 カニ断定シ得ザル狀況ナリキ然レモ機動部隊ノ名不ノイ進出ハ敵ノ偵知タル所
 トナリタルモノ如ク五月下旬未菲島南部海面ニ敵潜水艦増集ノ情勢ヲ招来シ
 GKF協力ノ下ニ艦艇及飛行機依ル対潜掃蕩ヲ續行セルモ六月六日ヨリ九日迄、
 間ニ駆逐艦四隻相次テ敵潛ニ依リ被害アリ駆逐艦數ハ決戦時所要ノ
 最低限度ニ達シタルヲ以テ艦隊泊地ヲ變更シ一時敵潛ノ配備ヲ觘ス必要ヲ認メ
 シリ
 一方菲島南部進出以來時日ノ遷延ト共ニ附近泊地及飛行基地不備ノタメ飛
 行機隊ノ訓練ハ実施スル由ナク其練度次第ニ低下スルミニシテ菲島中部
 ノ飛行場ヲ利用訓練再興ノ要切ナルモノアリ
 諜報防衛上及陷等ヲ忍ビ菲島中部ニ転進スルフトシ補給ノ關係等ヲ顧慮シ
 十三日ギマラスニ泊地変更ノフトニ決定セリ

「ア」方面ノ戦闘ハ其後改善ノ模様ナリ之ノ爾後我々作戰ニ及ボス至大ノ影響及同方面ニ
 対スル我々増援強化ハ結局敵機動兵力ヲ予期決戰海面ニ誘出シ、あまた作戦ヲ成立セシム
 ベキ算ナリヲ考慮シ機動部隊トシテ決戰上忍ビ得ル限度トシテ28ヲ同地ニ増援差支
 ナキ旨具申セカ六月十日15司令官ヲ指揮官トシ渾作戦再興セラレ令ニ依リ機動部
 隊ヨリ15(長内タ)582(一部タ)及108ノ駆逐隊一部ヲ派遣シ参加セシメタリ
 六月五日オニ次ノ挺身偵察ニ依リ「メ」方面ニ予想敵機動部隊總兵力ノ過半ヲ発見
 シ六月六日以降ノ通信謀報自方面モ、激減ヲ見又六月八日オニ次ノ挺身偵察ハ
 敵機動部隊在泊シアラサルヲ報告セシメテ敵機動部隊ハ六月六日出撃セルモノト推
 定警戒所アリ
 六月十日及十二日敵ハ概ネ其正空母巡攻空母ノ全カヲ基幹トシ機動兵力ヲ以テ
 「ア」方面ニ列島線方面ニ未襲セリ十二日迄ノ情況ニ於テハ敵ノ未襲ハ攻略ヲ目的ト
 スルモノナリヤ西部「ニ」ギニア方面又ハ北方作戦ニ対スル牽制ナリヤ明確ニ判断
 スルヲ得ザリキ

六・一三 晴	一、六月十一日及十二日敵機動部隊「サイパン」ニ来襲ス。十二日ハ特ニ母艦群勢力大且 空襲ノ規模大ナリシヲ以テ敵ハ攻略作戦ハ企圖ヲ有ス。トモトモ見解ツリシモ 飛行機隊ノ訓練並ニ当時既ニ「バオ」ニアリシ補充機收容ノ要アリ且ハ敵ノ「マリ ア」作戦ガ今後攻略作戦ニ進展ヲ見ル場合ニ於テモ「ヤマラス」進出ハ戦機即應上 有利ナリトノ理由ニ基キ機動部隊ハ予定ノ如ク十三日〇九〇〇「ヤマラス」三向ケ「タ ウイタウイ」ヲ出撃セリ
	ニ其後敵ハ海岸陣地及砲台ヲ目標トスル砲撃ヲ開始且駆逐艦ヲ以テ掃海ヲ開 始セリト報アリ敵「サイパン」上陸ハ気配濃厚ト認タリ
	一六四「オ」ニ補給部隊ヲ各三十分間待機トナス
	一七〇「オ」ニ補給部隊ニ対シ出撃下令「A」矣ニ至リ待機セシム
	一七二「オ」ヲ作戦決戦用意下令セラル（GF電令作才一四六号）
	一七三ニ渾作戦ヲ一時停止シ「B」（長内欠）582（能代島風沖波）10dg 4dg（山雲野分）
	ヲ原隊ニ復敵セシメラル（GF電令作才一四七号）

一七四	才三補給部隊ヲ出撃下令丁矣ニ符機セシム
	(一)GFアヲ作戰要領並ニKAB「ア」ヲ作戰要領ニ基キ友軍基地航空部隊及先遣部隊等ト緊密ニ協力シ晝間航空戦ヲ以テ敵正規空母群ヲ撃破シ次ニ全軍近迫敵機動部隊撃滅期ニ至リ晝間航空戦開始日ヲ十九日予定ス
	但大幡部隊進出遅延ノ場合決戦予定日ヲ之ニ應セシムル如ク腹案ス
	(二)尚決戦前ハ補給並ニ進出ニ當リ機動部隊太部ヲ「ギマラス」寄港セシムル可
	否ニ關テハ補給容易確實ナル矣ヲ重視シ我ノ全視偵察セラルノ不利「タタタ」
	在泊中、我所在企圖ハ概不察知セラル疑大ナリヲ忍ビモ「ギマラス」入泊ヲ有利ト
	認カリ
六、一四	「ギマラス」着
一六三〇	自十四日一七〇〇補給実施(補給量約壹万八百瓩)
六、一五	早朝敵輸送船約三十隻「サイパン」西方海面ニ出現上陸ヲ開始ス
晴	更ニ四〇頃敵機動部隊一群ハ硫黄島續ニ父島ニ来襲シ爾後同方面ニ機動ヲ

〇七二七	あ号作戦決戦発動下令せし
〇八〇〇	KLB(渾作戦)後敵(長門欠)5825d(能代島風沖波)10dy4dy欠「ギラス」発
一七三〇	KLBサンベルジノ通航
二〇三八	敵潜水艦、我機動部隊、動静ヲ偵知電報セルヲ知ル
	(六月十五日夕刻ニ於ケル情況判断左ノ通)
	敵兵力
	ウリアナ列島線方面
	敵ハ概ネ五群ヨリ正空母七隻巡改空母八隻計十五隻ヲ基幹トスル殆ド米
	國ノ機動兵力ハ大部ヲ集メテ来襲セルモト認ム
	現在列島線東方四〇〇哩附近ニ補給部隊ヲ列島線附近ニ一部揚陸開始
	ヲ認ムミナルモ早晚大規模攻略船團ノ来攻ハ免レサルベシ特空母乃至護衛空
	母ハ列島線東方三〇部認タルミナルモ決戦前後ニ相当多数列島線附

近ニ米攻算大ナリ

(2) アドミラルチー諸島方面

戦闘機偵察ニシテ充分信頼ヲ置キ難キモ空母八隻内外、戦艦以下、艦艇輸送船多数待機シアリ

2. 敵ノ戦路企圖ニ対スル判断

敵ノ戦路目的ハ左ノ何レカニ依リ又ハ同時ニ以上達成セシメズルモトベシ

(1) マリアナ列島線枢要基地攻略

(2) 前作戦ト併行、西部ニ「ギン」進攻作戦ノ強化又ハ西カロリン要地攻畧

(3) 我が機動兵力ノ誘出決戦

3. 機動部隊決戦前後ニ於テ「マリアナ」列島線方面敵兵力配備豫想考察

(1) 敵ノ機動部隊ノ企圖ヲ察知セシ算大ナリ（理由十三日「タタタ」ノ出撃ヲ五日

「ギン」ノ出撃ハ附近敵潛ニ対スル通信諜報ヲ推定スルニ難カラズ依テ従来米國使用ノ戦路速力ヲ推定敵ノ十日乃至十九日、我が列島線附近攻襲ヲ察知ス

(2) 十音位ノ敵ノ配備ヲ見ルニ敵ノ列島線ニ機動兵力ノ大部ヲ配スルモ一部ヲ常ニ後方ニ補給スル備兵力トテ控置セリ。列島攻畧戦ニ支援續行スル要アルヲ以テ敵ノ兵力配備ハ概ネ左ノ如キナルベシ	(A) 列島線附近	最モ兵力ヲ多ク配ス場合 $\frac{2}{3}$ 即チ十隻前後ヲ基幹トスル兵力ヲ配備スベシ然レ共攻畧戦ノ現状ヨリ其西進スル距離ハ大ナサルベシ。三島理以内ト推定ス	(B) 列島線西方 $\frac{1}{2}$ 乃至 $\frac{1}{3}$ ヲ配シ殘余ハ陸戦協力及後方ニ予備兵力トテ控置スルフトアルベシ	(C) 全兵力ヲ攻畧戦ヨリ撤シ一時列島線ノ東方ニ全部配スルハ現戦況ニ鑑ミ其算小ナルベシ	(D) 一部機動兵力ヲ遠ク西方ニ先遣シ以テ我機動部隊ノ出撃ニ対シ横懸リ又ハ奇襲攻撃ノ企圖ハ我基地航空兵力ノ哨戒圈ニ入ルトナルヲ以テ其算小ナルベシ	(E) 我航空基地ハ南西方ニ列島線ノ奥行キアリ北方ニ薄キヲ以テ敵ハ南方諸島ヲ
--	------------------	---	--	--	---	---

攻撃飛行機等、補給線遮断ニ努ムト共ニ北寄ニ一部西進機動を算アル
ベレ

(F)列島線附近ニ敵特空母ヲ相当数配シ陸戦ヲ支援スル算ハ相当ナリ

(二)機動部隊ノ作戰指導上考慮スベキ事項

1.機動部隊行動能力特ニ燃料関係上時日大ナル遷延ハ許サレズ

2.決戦海面附近参加可能ノ支軍兵力配備特ニ基地航空兵力ノ状況ハ最モ
充實モ時機ニ選ブラ要シ之ガ爲ニ現有兵力及増援兵力ノ状況ヲ考慮スルノ

要アリ

3.マリアナ列島線防備力ヲ耐久力以上ヲ考慮シ機動部隊決戦参加ハ予定ノ
十九日より遷延スル余地大ナラス寧ろ繰上ルコトモ考慮スルノ要アリ

(三)判決

機動部隊採ルベキ作戰方針

予定通十九日ヲ期シマリアナ列島線附近ノ敵機動兵力撃破ヲ当面ノ作

面ノ作戰目的ト爾後「あ」号作戦要領ニ依リ追撃戦ヲ行ヒ敵ヲ撃滅ス
 十六日以後ノ敵ノ奇襲機動ニ対シ警戒戒ヲ要シ所望ノ索敵ヲ行フ要アリ索敵
 ハ南方基地兵力ニ依頼シ主トシテ北寄り前方ニ主眼ヲ置クモノトス
 特ニ十八日敵配備状況ニ依リテ決戦ト計算スルヲ以テ警戒戒索敵ハ充分ニ行
 フトス
 二十九日黎明概ネ列島線西方三〇〇哩ニ達シ飛行機收容ハ進撃シツ實施シ
 列島線東方附近迄敵機動兵力(正空母)ヲ攻襲可能ナル如ク作戦行動ヲ定ム
 我攻撃ハ縱深配備ニ依リテ一戦決戦固航空戦才ニ注トシ敵ノ奇襲機動
 ニ対シ予備兵力トシテ控置シ北寄警戒戒ヲ嚴ニス
 決戦前日及當日ノ基地航空兵力ノ索敵哨戒觸接ヲ強化シ又特空母正空
 母ノ區別ヲ明確ニスル如ク具成ベク多数兵力ノ決戦参加ヲ各関係向ニ要望ス
 航空戦々果ニ対スル處置
 概ネ「F」作戦指導腹案ニ基キ

戦果大ニシテ全軍機ヲ逸セズ近迫敵ヲ殲滅ス	(2) 戦果大ニシテハ一時全軍避退兵力ヲ建テ直ニ攻撃ヲ再興ス	敵機動部隊概況判明シ但レ前日ニ引續キ硫黄島方面ヲ空襲シツアルヲ以テ	西方挺身母艦群ナレト認メ予定東方ニ対スル索敵ヲ取止メ無線情報ニ依ルバ	ヲ「西方ノ敵ニ対スル索敵ヲ実施ス(敵情ヲ得ズ)」	第一補給部隊及渾作戦復敵部隊「下(長門) 58 25d (熊島) 沖波 10dg	4dg (満潮) ト合同ス續テ本隊及前衛巡洋艦以下ニ対シ洋上補給ヲ開	始ス	六、一七 量後晴 二〇〇 GF 其他ニ対スル電報発信ノ為任務機ヲハラオニ派遣ス	IKF キデ一七〇八四五要旨左ノ通	発 IKF 参謀長 宛 日 GF 口 519B 口 TF	卯六十七日夕刻「E」莫ニ於テ補給終了後敵西方進出並ニ北側ヨリノ機動ヲ察ス	シツ「C」莫(一五、一〇北)ヲ經テ十九日黎明「B」概ニ西方ニ進出先ゾ敵正規空
-----------------------------	---------------------------------------	--	---	---------------------------------	---	---	-----------	--	--------------------------	-------------------------------------	---	---

母群ヲ撃碎シテ全カヲ舉テ敵艦及攻果部隊ヲ覆滅セシム	基地航空部隊ノ協力要望	一、決戦前日夕刻以後、マリヤナ、附近敵正規空母ニ対スル艦艇持續不	能、場合、正午頃、正規空母配備、状況、速報	二、決戦前日マリヤナ、西方海面ニ対スル各基地哨戒、強化特ニ硫黄島ヨリスル	乃至哨戒重視	三、八幡部隊兵力展開、遲延場合、決戦ヲ一日延期スルモ亦己ムヲ得スト	思考セラルニ付見込速報得度	一五三〇 補給終了、水一軍隊区分ヲ下令ス	六、一八 晝間航空戦才ニ戦法(集團配備)第三法ニ依リ索敵開始進撃進路	六〇五〇 六〇度速力ニ〇節	右索敵後リ前方約四〇〇哩ニ敵哨戒機ヲ認め	〇六五五 七三度方向四〇哩ニ東進敵機一発見、六度方向四三三哩ニ敵味方不明機三発見
---------------------------	-------------	----------------------------------	-----------------------	--------------------------------------	--------	-----------------------------------	---------------	----------------------	------------------------------------	---------------	----------------------	--

一五四〇	第貳索敵(一一〇 ^(一四一四〇北) 、一五〇 ^(三五十四〇東))ニ於テ飛進索敵範圍340乃至100前方一役十七番索敵機ハ四三五乃至一五四の向ニ左三群ノ敵母艦群ヲ発見セリ
第一群	ウイニチ 正規二、一〇乃至一五
第二群	ウラ四エ 正規三、一ニ 其他十数隻
第三群	ウラ一ア 空ヲシギモノニ 其他十数隻
針路何レモ西 本隊ト距離約三八〇哩	
該目標ニ対シテ3時ハ攻撃後大宮島着陸ヲ期シ特攻隊ヲ飛進セシメタルモ正	ヨリ「攻撃待機解除」依リ之ヲ中止セルヲ判明ス
十八日午後三時ニ於ケル判断處置	
一敵情判断	
敵空母群 三八「ア」ヲ「西」ニ進出シアリテ懸念シアル北「方」ヨリノ敵横懸リ	
部隊ヲ認メ(午前ノ索敵ニ於テ零度方向ヲ発見セル敵戦機ハ誤認判明セリ)敵	
索敵攻撃機進出距離ハ概ネ三〇〇哩ト判断ス尚「正」方面戦況ニ関聯シ敵KLB	

大部ハ過大ニ西進シ来ル算ナキモ列島線ヨリ三〇〇哩程度進出スルヲ予期スル要アリ	(二) 處置	十八日攻撃ハ飛行機隊ヲ陸上基地ニ移動セシムルヲ前程トセザバ実施不可能ナルヲ以テ之ヲ取止メ十九日決戦当日全カヲ擧ゲ攻撃スルニ決ス十九日航空戦ヲ先ヅ列島西側進出ノ敵正規空母群ヲ撃滅セントス	之ヲ爲攻撃開始ハ南寄り方ヨリ進撃シ敵進出母艦群ト面合三〇〇哩ヲ取ルヲ目途トシ列島線ヨリ約五八〇哩離隔シ若シ進出母艦群ヲ場合ハ十九日列島線附近ノ天ヲ攻撃シ得ル如ク計畫セリ尚十八日夜間敵機動部隊ニ対シ支軍ノ觸接機が觸接ヲ確保シ得ル場合索敵攻撃ノ実施ヲ豫定セリ	右基キ二〇〇前衛ヲ分離シ航空戦配備ニ就シム	機動部隊前衛本隊ノ距離約一〇〇哩ヲハ隔テ五ノ位ニ縦隊配備ヲ以テ航空戦ヲ開始ス	ス道撃進路五〇度ヲ敵方ヨリ五〇度	前一段索(2)水偵一六(発進)
---	---------------	---	--	------------------------------	---	-------------------------	------------------------

解、要隊ヲ以テ再受攻撃、其收容一五〇頃より夜間着艦ヲ期スル要アリテ、夜攻要隊一部ヲ以テ（一カ）薄暮攻撃ヲ準備セシメ、大鳳爆沈ニ依リ遂ニ実戦スルニ至ラス、但シ爆沈前大鳳才夜攻要隊大部ヲ瑞鶴ニ移載得キ

第貳攻要隊攻撃後決心

戦果相笑ハシ時八時三十分黎明時列島線附近、近迫シ航空戦ヲ再興シ敵空母群、大部ヲ撃碎シシ遊撃部隊進出シテ敵ヲ撃滅セシメ

若シ夜攻、戦果小シト判明セ、機動部隊ハ一時西方へ避退シ兵力整備並ニ補給上再度決戦ヲ期ス

大鳳爆沈

大鳳ハ十九日〇八〇（二二二四）第貳攻要隊終了直後敵潜、雷撃ヲ受ク（一本命中）

一四三二突然大爆発ヲ起シ、一六八沈没セリ、位置（二二二五北、二六二二東）

翔鶴沈没

翔鶴同日二〇敵潜、雷撃ヲ受ク（四本命中）火災ナリ、四〇沈没セリ、位置（二二二五北、二六二二東）

一四三二大鳳爆発当時航空戦酣ナル時機ナリシヲ以テ速ニ通信可能ナル艦ヲ移乗スル上注意シ當時視界

内三ノ名若月ヲ經テ一六〇ノ羽黒ニ移テ当面要急事項ヲ處理シ作戦指揮ヲ續行羽至三〇〇ノ瑞鶴 ヲ獲テ變更セリ	一〇〇 発艦指揮官宛 KLB	明二日〇七〇〇ノ敵機隊行序列ニ占位セヨ 甲部隊位置ハチノ〇〇針路ヲ度テ六速	二〇一 発艦指揮官宛 才一才ニ補給部隊	才一才ニ補給部隊ハ地味ハチノ〇〇ニ進出セヨ	二二四五 発艦指揮官宛 KLB	機動部隊ハ速ニ西方ニ進出ニ三日補給ヲ如ク行動スシ	二二五七 以下左記要旨ノ電報アリ	追撃戦ハ一應兵力ヲ整頓シタル後戦況ニ應ジ指導ノ内意ナリ (一) 三日補給及兵力整頓ヲ行ヒ損傷艦内地ニ一部空母ハ訓練地(リカ)ニ回航 (二) 三日情報ヲ應ジ進出基地航空部隊ハ協同敵機動部隊ヲ攻撃相向シテ夜飛行機隊ヲ陸上基地ニ派遣第五 基地航空部隊指揮官指揮官ヲ作戦續行ハ空母ハ訓練地ニ回航ス
--	-----------------------	--	----------------------------	------------------------------	------------------------	---------------------------------	-------------------------	--

六 晴 二〇	三、以後戦況に應じ水上艦艇大部ヲ以テサイパン、椰蕨攻取ヲ実施ス 遊撃部隊指揮官所定ニ依リ(発進時刻〇四〇〇)補給点東方海面ノ索敵ヲ実施セシム
〇七〇〇	第一第二補給部隊ヲ合同ス 午前中、敵精鋭部隊ヲ得テ消タク二三〇。パヤ、哨戒機ガ「ベリリ」ニ度五四〇理機動部隊発見ノ報ヲ得タルミ、本機動部隊味方誤認ナリ判断セシ所其後方位ヲ無度ト訂正シテ味方ナルヲ確實ト認ナリ 二〇〇更ニ索敵機飛進(探子)ニト共ニ四三〇索敵機ニ飛進「ベリリ」ヲ発見敵対位置ヲ察知セリ 午後三時遊撃部隊更ニ索敵機ガ補給点東方約二四〇理附近ニ相次ぎ敵味方不明、飛行機ヲ発見、電音見、一五二五迄空 言敵雷波ヲ感受セル報無敵飛行機、艦隊ニ觸接セリ判明セルヲ以テ補給ニ就キ、針路三〇度ニ変更、直進ニシテ 一五〇五 敵信傍受ニシバ敵飛行機、味方艦隊ノ全貌ヲ発見報告セルノ如シ
一五二〇	第一第二補給部隊対し速カニ西方ニ避退セシム
一六一〇	PAB東方約二〇〇理敵艦上機群(約二機)西進スヲ認メ、次テ一六五索敵機ハ母艦ヲ食、敵部隊(IX22基幹)針路 西ヲ発見(位置二四二〇北、三三〇東)ナリ
	左敵部隊対し雷撃機隊薄暮攻撃ヲ決意ス(攻撃後基地ニ返投セシム)

一六五五	前衛ヲシテ右ニ対シテ鎧接確保ヲ命ズ
一七〇〇	第四軍隊ニ分テ発動ス
一七〇〇	水島艦艇ヲ全部ヨリテ遊撃部隊夜戦投ヘテ発令ス
	右遊撃部隊夜戦投ヘテ雷電隊戦果並ニ翌朝航空支援可能ト前提トシ且其地航空兵力ヲ察知敵等トモ考慮既發見ス
	又外附近ニ敵部隊ヲナル者モ打撃シ決定セシムル其後三至雷電隊敵ヲ捕獲得ズ又二五三〇頃ヨリ我機動部隊及補給
	部隊敵機空襲ヲ受ケル結果母艦航空兵力大半ヲ喪失シ航空支援戦不能トナリタルヲ以テ二〇〇頃雷電部隊及夜
	戦軍ヲ迅速北西方ニ退スベキ旨下令セリ
	二日一七三〇ヨリ約時間三互リ18時40分補給部隊敵機空襲ヲ受ケ
	一未機数約一三〇乃至二五〇機
	18時約五〇機24時約四〇機19時約二〇機TB約三五機
	二撃墜空襲夜中四機以上(但し未歸還機ヲ含ム)対空砲火ニ依リタリ約七十機
	三被害 別項参照
一七〇六	最前衛ニ編入ス

一七二〇	雷雲機隊（敵機隊三機 雷雲隊七機）
一九四五	敵機隊ハ当面ハ戦況ニ應ジ機且敵ヨリ高視指揮官所定依リ行動スギ旨令セラル
一九五〇	GF参謀長ヨリ追撃戦ハ一應延期シ戦況ニ應ジ再興ヲ予定ナル旨電報アリ
二〇一五	第一第三補給部隊ヲシテ速ニ西方ニ避退シテ後中城灣ニ向ハレム
六、二一 晴後曇	3時テ五〇〇發進艦隊所在九〇度ヨリ一八〇度迄向三五〇理索敵ヲ実施セシム
〇七一五	甲乙丙部隊ヲシテ中城灣ニ進軍部隊ヲシテギンマスニ向ハレム
〇八一八	本日敵機動部隊ヲ見セ各艦隊飛機隊亦以テ最後攻撃ヲ行ハシ準備ヲシテオキテ命大
	午後敵機隊全機ヲ以テ中城灣ニ索敵ヲ実施セシム（基準線方向一四〇度）
	我ヲ追跡敵機中ナリシ敵機動部隊ハ一〇三〇前後一應離隔セシト看取セラル
一〇三〇	朝雲燃料由係上十六節ニテ單獨中城灣ニ向フ
一五四五	本隊各部隊ニ対シ明朝中城灣ニ泊進軍部隊ニ対シ莊島中南部面航符機ヲ令シ又扶桑及オオ二補給
	部隊ヲ遊軍部隊ニ編入ス
	遊撃部隊ハ敵情ヲ補給困難ナルニ鑑ミ中城灣ニ寄泊燃料移載上ギマラス進出ニ変更ス

六、二二 曇後雨 一五〇〇	族裏部隊中城湾着
三三〇三 三三〇三 三三〇三	本隊中城湾着 午後大鳳(瑞鶴)鉅鶴(摩耶)空(瑞鶴)飛鷹(隼鷹)乘員移乗(突施)
六、二三 〇〇二三〇	日GFヲ機動部隊(扶桑名取)ハ内海西部ニ回航命ゼラル
〇五二五	各補給部隊対レ夫々内海西部ニ回航ヲ命ス
一二〇〇	軍隊区分ヲ左通改ハ本隊3F遊撃部隊2F
六、二四 曇八〇〇	機動部隊中城湾出撃
六、二四 曇八〇〇	機動部隊内海西部着
四) 索敵並ニ航空攻撃經過概要	
六月十五日 半晴八〇〇	初メ出撃南西方面部隊哨戒部隊ヲ対潜飛行警戒ヲ実施セリ付機動艦隊ハ飛行機ヲ警戒実施セリ
六月十六日曇 〇九三五	早朝未降雨為索敵及対潜警戒一時出発ヲ見合ス前衛3F対潜哨戒実施
一四五三	2F第補給部隊搜索為発進一五二五第補給部隊ヲ発見ス
一五三〇	1F(長内)5F2sa(部々)10dg4dg前衛ニ合同ス
一七四五	5F本隊ニ合同ス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp/>

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp/>

第二復員省

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp/>

[illegible]

[illegible]

(二) 作戦影響セル事項

機動部隊ハ五月十六日「多クタイ」集結シ爾後六月十三日同泊地出撃迄約一ヶ月間ハ毎艦航空部隊ノ訓練勿論水上部隊ノ出動訓練モ殆ド実施スル事ヲ得ズレテ経過セリ

即チ航空部隊ニ於テハ訓練仕上ゲ時機モ乏シキ又最モ訓練効果ヲカルベキア時機ニ於テ泊地附近ニ適當ナル航空基地無キト出撃待機下令中ニシテ時間的ニ余裕ナリシ爲基地訓練ヲ實施スル得ズ又泊地附近ニ敵潛哨艇爲母艦出動ヲ着艦訓練ハ各航空戦隊ニ於テ僅カニ一回實施セルミナリ

水上部隊ニ於テモ燃料問題及対潜顧慮上出動訓練ヲ實施スルヲ得ザリキ
右訓練不足特ニ飛行機隊ノ訓練不足ハ航空戦ニシカラス影響ヲ及シタルモノト認ム

0702	「七」攻撃、為3射能接機fx2発進
0706	「七」攻撃、為1射前路索敵機fx1知発進(内天山機080頃発進)
0710	一段九索先、兵力=Ax1ヲ追加ス
0730	「七」敵(Ax4Bx5他数隻)攻害為3射、次攻害隊発進(知x8fx45fx14)敵前方20理附近ニ於テ優勢ナル
0800	敵群ト交戦、後09四五頃敵ヲ攻害シ一二〇〇級投未留還(知x2fx32fx8)戦果Ax1Cx1ニ五番各一発命中
0800	「七」敵(Ax4Bx5他数隻)1射、次攻害隊発進(知x2fx32fx8)余中前衛射撃ヲ受ケ一時隊形乱レ且敵前方40理附近ニ優勢ナル敵群ニ遭遇ス、0845
0810	大鳳潜水艦、雷雲ヲ受ケ更奮一本命中、前部撃油庫漏洩シ上下格納庫ニカス充満(同出入困難トナリ、前部リフトハニ次攻害用戦機搭載、艦中間ニテ停止セリ直ニ應答不能トナシ)
0810	第三攻害用飛行機ヲ瑞鶴ニ移載セリ(知x5fx1fx1)
0810	戦果Ax1五番一発命中トモ認ル外、隊未散還ヲ、戦果不明、撃墜fx18(因テ不確実)被害未皎
0810	還(知x23fx12fx1)自爆機
0810	隊中隊指揮官ヨリ全軍突進電ヲ

0100	35f 電探敷瞞隊「レイ」Bヲ買大部隊（針路要見）空直衛戦機ナシ
0130	71ノ敵（AX他十数隻）攻雲ノ為25f 能接機知発進
0145	3段十索合會敵KB発見兵力AX他十数隻針路二四〇度「ギ」ウ（一五リ）
0160	3段十索ナレニ「A」合敵KB発見兵力AX他十数隻（三リ）
0155	71ノ敵（AX他十数隻）攻雲ノ為25f 能接機知発進（fX25 fX15 知X17）
0162	3段十索先兵力ハAX12 AX15 ナレニ「三リ」
0190	25f 攻雲目標「三リ」ニ変更ス全攻雲隊ハ一一三〇予定地突進シタル敵ヲ見タ更ニ投索
	中「71」地突目武戦艦ニ復ヲ其幹上ル部隊ヲ発見引續キ投索續行中敵「40」奇襲ヲ受ケ
	遂ニ発見シタルス攻雲ナシ
	第3群敵機ヲ見ズ全機敗還才一群被害自爆機未敗還 fX1 fX4 知X1 戦果ナシ
0200	71ノ敵（AX他十数隻）攻雲ノ為25f 能接機知発進
0200	71ノ敵攻雲多ク才ニ攻雲前路索敵機一機発進
0230	71ノ敵攻雲多ク才ニ攻雲隊発進（知X4 fX10）途中各隊分離シテ予定目標ニ回シタル

一三五〇至モ敵ヲ見ズ敵投スル隊ハ其儘上空直衛ナル隊ハ一四〇敵ヲミテ概テ発見ナ直ニ	裏退ス被害未敗還 $f_{x1}x_8$	一〇三〇 「五」攻襲多2時才攻襲隊飛進 $f_{x9}x_6$ 群 $f_{x10}x_2$ (三三五予定地未至是敵ヲ見ズレテ才群ハ	一四三〇襲 f_{x2} 発見セル f_{x3} 食敵 f_{x8} 攻襲ス	f_{x1} 飛動機不調タルニアレテ經テ大宮島ニ敵投ス才群ハ一五〇〇大宮島著陸直前敵	f_{x30} 交戦ス	戦果才一群有効タル攻襲ヲ実施セシム如キモ未敗還機多ク詳細不明第三群襲撃 f_{x6}	不確実 f_{x2}	被害才一群自爆ス未敗還 f_{x5} 被弾 f_{x2} 第三群自爆ス未敗還 f_{x14} f_{x23} 不時着水 f_{x3}	着陸時大破 f_{x1} 外ニ未敗還 f_{x2}	一〇 翔鶴ハ敵潜水襲撃ヲ受ケ(四本命中)火災ナリ一四〇沈没セリ	才三攻襲隊ハ一部ハ(指揮官小野大尉)大鳳翔鶴ノ被害多ク出發遅延ナリ薄暮	攻襲ヲ準備セルモ実施セズ
---	--	---	--	--	---------------------------------	--	--------------------------------	--	--	--	--	---------------------

一〇四	「レイ」電探欺瞞隊発見ル敵部隊確認シテ和船発進セルヲ見ズ
一四三二	大鳳誘爆ヲ起シ一六八沈没スP KAB 若目ヲ経テ一六〇六羽黒ニ移乗ス
一四五七	「五」敵攻撃シテ和船攻撃隊接触機ヲ発進
一五三〇	和船攻撃隊ハ「五」敵攻撃隊ハ其一部ハ和船ヲ攻撃セルヲ見テ和船ハ緊急着艦
多攻襲時機ハ「五」攻撃ヲ中止ス	
明日ノ実動可能機数	
六二〇晴	東方索敵機 2F 飛進 (三法Bハ八九機一番線九ノ度)
〇四二〇	後方一段索敵機 2F 飛進 (三法B四一七六機一番線七ノ度未級還他ハ在外異状ナシ)
〇六二三	味方機「四」三敵艦機二機ヲ発見シ他ハ八敵機ヲ遠退ヲ受ケ
一〇〇	旗艦ヲ瑞鶴ニ変更ス
一〇〇	後方二段索敵機 3F 飛進 (四法E三五七番線二五ノ度未級還他ハ在外異状ナシ)

一五〇〇	3時ハP哨区発見ノ空母位置並ニ敵艦接戦ノ状況係リ敵空襲ヲ予想シ追尾攻撃ヲ多ク攻撃隊ヲ派遣ス(天 ¹⁴ 地 ¹⁶ 空 ¹⁴) 内機上空直衛ニ日没近クナリ敵未襲ヲ力収容ヲ開始セル處敵空襲アリ 収容ヲ止直多襲ス
一六五	敵果襲陸上機被害未収還物自爆ス 二段三索「ニ一カ」Aヲ食敵艦発見ス(天 ¹⁴ 地 ¹⁶ 空 ¹⁴) 他敵機
一七〇	「ニ一カ」敵攻撃多ク前路索敵機ヲ発見ス(天 ¹⁴ 地 ¹⁶ 空 ¹⁴) 行不明機ハ三五「エンジン」不調 多引返ス途中ハ三七敵機ヲキテ四機又脱スヲ認メ更ニ三八四五敵機八機又脱スヲ 認メ二〇〇若月附近ニ着水ス
一七二五	「ニ一カ」敵薄暮攻撃急激ニ敵艦発見ス一七三八敵攻撃隊又脱スヲ認メ直ニ呼力部 隊ニ通報ス予定地矣ニ到達セル敵ヲ見ズ途中20空中衝突シ二機隊並他ハ二 二五三朝雲附近ニ着水ス未収還(天 ¹⁴ 地 ¹⁶ 空 ¹⁴) 不時着水沈没(天 ¹⁴ 地 ¹⁶ 空 ¹⁴)
一八六五	以後上空直衛機ヲ派シ(内機食)ヲ配シ警戒中一七五〇頃敵機約三〇機 未襲セリ

1sf fx4 fx1 fx1 fx1 2sf fx4 fx1 fx5 fx2 3sf fx2 fx3 fx4 fx2 2F fx4 fx6 基地 fx5	明日、実動可能機数	六、二、三 最後 0x0 0x0 一五〇〇 K中城着	被害 未敗還 1sf fx1 fx2 fx4 不時着大破沈没 1sf fx5 2sf fx3 自爆 2sf fx1 fx1	戦果 未敗還 (不確実) 1sf fx2 fx5 fx0 2sf fx2 fx9 3sf fx2	1sf 上空直衛機八機ヲ配シ戦中 一七三ヨリ敵機約五機未離セリ	六、二、三 最後 0x0 0x0 一四〇 一段五索ヨリ二機敵艦主機一機ヲ発見	尚敵機受電証(2)ヨリ敵機ハ〇八一五敵機中止セルノ如シ	一三 後方二段索敵機 3sf fx3 fx3 突進 (四、五、三、五、七三機進出ニ力理 左四理三番線一五度三索	二〇 理) 敵情ヲ得ズ一八三〇敵還 一機未敗還	後方一段索敵機 2sf fx3 突進 敵情得ズ (四、五、三、五、七機 一番線一六度)	六、二、三 最後 0x0 0x0 一五〇〇 K中城着
--	-----------	---	---	--	---------------------------------	---	-----------------------------	---	-------------------------	--	---

五、戦果及被害

(イ) 戦果

(一) 才次攻撃隊戦果ハ未級還搭乗員ヲ多ク且敵戦機強力ナル妨害依リ戦果偵察不能ナリニタテテ確認得ナリトモ判定資料次ノ如シ

1. 才次特別攻撃隊大型空母一、大巡一ニ対シ命中ヲ確認シアリ(瑞鶴一九二八番電)

2. 才次攻撃隊突入後空母四隻ヨリ黒煙ヲ吐ツアルヲ認ム(才一九三五番電)

3. 才次攻撃直前情况(一〇四〇)

戦艦一白煙ヲ吐キツツアリノ又空母一炎上中ナルヲ認ム

(ロ) 判定

1. 才次攻撃隊依リ AX1 BnCX1 炎上ノ確実

2. 才次攻撃隊依リ AX4 BnAX3 (才次攻撃隊ノ炎上中ナリトモ一隻重複スルヲ以テ削除ヲ為セシメタルヲ確実

結局空母四隻乃至五隻戦艦二大巡一隻重破ハ確実ニシテ其他乗破セルモノナシト

断スルヲ得ス

(ハ) 襲撃機数

空母群		爆電目標		戦隊		戦果	
3rd	1st	天	使	山	機	天	機
一	一	山	用	雲	機	山	機
八	二	星	機	艦	機	星	機
〇	七	戰	機	戰	機	艦	機
一	五	爆	機	戰	機	戰	機
四	三	爆	機	戰	機	戰	機
四	四	爆	機	戰	機	戰	機
二	八	爆	機	戰	機	戰	機
(1) 正我空母四隻ヲ炎上セシム		(1) 正我空母四隻ヲ炎上セシム		(1) 正我空母四隻ヲ炎上セシム		(1) 正我空母四隻ヲ炎上セシム	
(2) 薩行機四隻ヲ炎上セシム		(2) 薩行機四隻ヲ炎上セシム		(2) 薩行機四隻ヲ炎上セシム		(2) 薩行機四隻ヲ炎上セシム	
(3) 大野空母一隻ヲ炎上セシム		(3) 大野空母一隻ヲ炎上セシム		(3) 大野空母一隻ヲ炎上セシム		(3) 大野空母一隻ヲ炎上セシム	
(4) 飛行機四隻ヲ炎上セシム		(4) 飛行機四隻ヲ炎上セシム		(4) 飛行機四隻ヲ炎上セシム		(4) 飛行機四隻ヲ炎上セシム	

2 空戦				(1) 六月十九日 航空戦			
所轄		味方機種		交戦敵機種		延機数	
184 一次	戦斗機	戦斗機	機数不明	一	二	六	一八
284 一次	戦斗機	戦斗機	約四〇機	二	二	〇	二
384 一次	戦斗機	戦斗機	約三〇機	五	一	一	六
284 一次	戦斗機	F4F F6F	三〇機以上	四	二	二	六
合計				二五	九	三四	
(2) 六月二十日 航空戦							
184 一次	戦斗機	F6F PB2C TBF	約五〇機	一	五	四	一九
284 一次	戦斗機	同	右約四〇機	三	七	二	五
384 一次	戦爆機	爆車機	約二〇機	二	〇	二	二
合計				二七	一〇	三七	
				確実		不確実	
				機		数	
				合計		計	

(四)被害

(一)艦船被害

六月二十日 戦闘

1. 瑞鶴

艦橋後方ニ直撃彈一其他至近彈計六

戦闘艦海支障ナシ

2. 飛鷹

雷爆協同攻撃ヲ受ケ與雷一命中運轉不能ナリ漂流中更ニ敵艦ノ
雷撃ヲ受ケ一本命中艦内大火災ナリ一九三三遂ニ沈没ス

3. 隼鷹

煙突附近ニ直撃彈二其他至近彈計六

飛行機ノ発着困難トナル 航海ニ支障ナシ

4. 龍鳳

至近彈ニ依リ小被害アリ但レ戦闘航海ニ支障ナシ

5. 千代田

飛行甲板後部ニ直撃弾一、小被害

但レ戦闘航海ニ支障ナシ

6. 榛名

後甲板ニ直撃弾一、其、他至近弾アリ、火薬庫漏水入渠ノ要アリ

但レ当面ノ戦闘航海ニ支障ナシ

7. 摩耶

左舷発射管室至近弾ニ依リ火災入渠ノ要アリ

但レ当面ノ戦闘航海ニ支障ナシ

8. 玄洋丸

至近弾ニ依リ機械大破、浸水航行不能ナリ船体放棄ス(卯月砲撃)

三依り處分ス			
9. 清洋丸			
被爆大炎より船体放棄ス(雪風、雷撃ニ依り處分ス)			
10. 速吸			
直雲彈一、其他至近彈二、小被害			
但し、戦斗航路ニ支障ナシ			
(二) 飛行機隊被害細別左ノ通			
1. 航戦			
種別	機種	自爆未敗還	不時着戦死者行方不明者戦傷者記事
第一次攻撃隊、敵上空直衝機ノ	天山	二三	六一
交戦ニ依リテノ	彗星	一四一	二八二
敵機動部隊防衛砲火ニ依リテノ	零戦	三二	三二
敵機撃墜戦ニ依リテノ	零戦	八五	八

<http://www.jacar.go.jp/>

種別		機種	自爆	未敗還	不時着	戦死者	行方不明者	戦傷者	記事
2. 二航戦									
総計			二九	一三二	一二	八	二二五	一	
索敵機		天山		二	二		六		
		彗星		六	一		一二		
第1次攻撃隊		戦機	一	一		一	四		
		爆隊	一	四		一	四		
		天山隊		一			三		
		戦機		一五		一五	一五		
		北艦隊	二	七	二	八	四	五	
		彗星		五			〇	二	
		天山		二			六		
		戦機		五	二		五		

第二復員省

其他	戰斗機	三	一	三
天山	九	二	三	六
戰爆隊	七	八	九	七
戰斗機	三	八	九	七
空戰ノミニ依ルモノ	七	八	九	七
空戰ノミニ依ルモノ	七	八	九	七
防禦砲火ニ依ルモノ	九	二	三	六
其他	戰斗機	一	三	六
計	六	四	五	六
總	三	航	戰	事

[illegible]

軍隊区分			
第一軍隊区分			
部	隊	指揮官	兵
本甲部隊	□ _{1KdF}		18sf 58 108 (4dg 疾風)
隊乙部隊	△ _{2sf}	2sf 長門 扶桑 最上 4dg 27dg 早霜	力
前衛	□ _{2F}	2F (長門 58 27dg 早霜) 3sf	
第一補給部隊		首席指揮官 日榮丸 建丸 日邦丸 あぶ丸 6dg 疾風	
第二補給部隊		首席指揮官 玄洋丸 國洋丸 清洋丸 速吸丸 秋霜 早霜 CDX/	
第三補給部隊		首席指揮官 雄鳳丸 興川丸 洲崎丸 4X/ 38X CDX/	
第四補給部隊		首席指揮官 其他補給艦 CDX/	
待機部隊		前進基地より待機整備、艦艇	
整備部隊		内地及び後方基地より整備中、艦艇	

第三 復員省